

## 2022 夏 新型コロナ・オミクロン株蔓延の中敢えて山へ(個人山行)

### ～ その2 南会津の秘峰 会津朝日岳 (1624m) ～ (報告) 赤澤 東洋

2019 年中国で発した新型コロナウイルス、その後様々な変異株を生じ、今はオミクロン株が猛威を振るい日本は異常なほどの感染者増となって医療現場は大混乱だ。2 年前なら戒厳令もみかずの状況なのに何故か行動制限とはならず、それをヨシとして敢えて山へ向う。80 歳となり先行き短き人生、動けるのはせいぜいあと 2～3 年なのだ。

#### ▲▲▲ 南会津の秘峰 会津朝日岳 (1624m) ▲▲▲



(叶ノ高手 (1430m) 先から見上げる朝日岳北壁)

◎期日：7 月 29 日 (金)

◎メンバー：単独

住いの関係から奥日光、上信越、南会津方面の山々に深い関心を抱いているが、この山の存在を意識したのは 2003 年 4 月、近くの城郭朝日山に登った時の事だから比較的新しい。文献を漁ってみて分かったのは山が深く人目に触れることがなかった故に登山の対象に成り難くかったようで、1953 (昭 28) 年、奥只見で田子倉ダム建設工事が始まり、国道 252 号線や国鉄只見線が整備された事により徐々に注目されるようになったという。手元の「尾瀬と会津の山々」川崎隆章編・修道社・昭和 36・5 発行に元立教大学ワングル部主将・大中睦夫氏の〈朝日岳・丸山岳〉が載っているが、私が知る限りではこれが一番古い記録で昭和 33 年 8 月に黒滝川を遡り途中から小幽沢に取り付き裏側から登っている。他には昭和 20 年代に地元坂下町の小滝清次郎氏、30 年代に市川学園山岳 OB 会が精力的に歩かれている。

又、「折々の山」望月達夫著・茗溪堂・1980・7・発行によれば昭和 46 年 (1971) には赤倉沢沿いに登山道が整備されていて氏は 8 月に 75 歳の藤島敏男氏とこちらを辿っている。

前日は国道 289 号線沿いの道の駅「きらら 289」で車中泊、翌朝明るみ始めるのを待って動き出し、黒谷集落で「会津朝日岳登山口」の看板に従い黒谷川沿いに南へ進み白沢で右折する。直進は倉谷方面となり城郭朝日山登山口はこちらになる。途中狭くなるが舗装された走り易い車道でじきに「イワナの里」となり、登山口はその先になっていた。



(会津朝日岳・赤倉沢登山口)

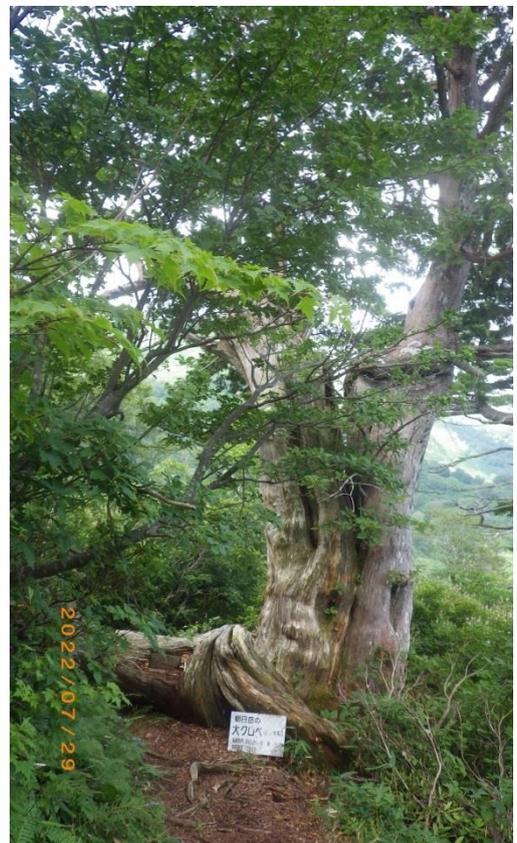
5:20「会津朝日岳・登山道」の大きな道標に導かれ出発する。しばらくは赤倉沢に沿って林道を緩く登る。これは楽しんでいいやと思ったが、それはまったくわずかな区間のぬか喜び、じきに山道となりハーハー、ゼーゼー呼吸が乱れる。歩き始めて1時間程で「三吉ミチギ」という水場に到着水を補給、ミチギとはどういう意味なのか首をひねるも分からず。

ここからブナ林の中ジグザグに急登が続き心臓パクパク、いつものことながら10歩進んで一呼吸を繰り返す。最近はこの頻度が激しくなったのは年齢のせいと違はなく、何とか誤魔化し誤魔化し上手く付き合っていくしかないというところ。

喘ぎ喘ぎ頑張っってブナ林を過ぎ低木帯に入るとまもなくして視界が開け人見ノ松という見晴台に出た。田子倉ダムの先大きな山容は浅草岳のようで疲れが少し吹き飛ぶ。天気はまずまず、雨の心配はなさそうで「ヨッシャー、行くぞ!」と活を入れた。

岩場を越え灌木の尾根を行くと叶ノ高手(1430m)で、その先にはクロベの大木が2本、ここで漸く会津朝日岳の堂々たる雄姿を拝むことが出来た(冒頭の写真)。「アリアリヤ!!あれを登るんかいな」とも登れそうもないそそり立つ北壁に息をのむ。谷川岳・一ノ倉沢のように谷が深く切れ込んだ暗く不気味な岩壁とは異なり、こちらは明るいスラブ状の岩肌が横に大きく広がって屏風のように前途に立ちふさがっている。雨なら即退散という所だが、この天気、これはラストチャンスなのだとい己を奮い立たせ前進とする。

ブナ林の中、熊ノ平避難小屋を右に見て急登を休み休み行くと岩場に出た。ルートは中央のルンゼにあるようで、ロープも下がっている。草付き帯の最後の登りはかなり緊張したが、何とか登りきると先行者が独り寛いでいた。ここが頂上かと思ったが三角点はまだ先だという。標高はこちらの方が高そうだがとにかく頂上を目指す。前方の丸山岳が大きく、こちらよりも200mほど高くこの山塊の盟主だろう。ここから縦走出来るらしいがもう無理だ。



(クロベの大木)

往路は東北道から会津入りしたので、復路は小出から関越道経由で帰宅したが、こちらは田子倉ダム

を迂回するくねくね曲がる山道が長く運転し難く草臥れた。

因みに水場の「三吉ミチギ」だが何時ごろから呼ばれるようになったかは地元の人に訊いても誰も知らなかったそうだ（「日本の名山シリーズ③〈尾瀬・日光と南会津の名山〉ぎょうせい社 1983・皆川文弥」）

#### 《コースタイム》

赤倉沢登山口 5：20→6：25 三吉ミチギ→7：50 人見ノ松→8：30 叶ノ高手→9：10 熊ノ平避難小屋  
→10：10 朝日岳頂上 10：20→11：05 避難小屋→12：50 三吉ミチギ→13：55 下山

所要時間 8時間 35分 （上り 4：50 下り 3：35）

（了）